

2004年臨時号

# News

特定非営利活動法人  
都市生活コミュニティセンター  
〒663-8231 西宮市津門西口町 7-3  
TEL0798-36-6679 FAX0798-36-5114

## 再度 出石町日野辺へ ボランティア作業

出石町役場でのボランティア受付は終了しています。しかし、水害に逢った人が今までの暮らしを取り戻したわけではありません。

「人手は必要。」との声が多く聞かれ、前回ボランティアに行った日野辺地区の地区長久木田さんと話し合いを経てボランティアに伺うことが決まりました。11月12日のボランティア募集の結果、生協都市生活11人、生協エスコープ大阪8人、一般16人、都市生活コミュニティセンター2人の計37人で日野辺地区へ出発しました。ボランティア参加者の声をお読み下さい。



思ったとおりの重労働ではありましたが、体を動かして、ほんの少しでも役に立てたのであれば満足です。40人近くの人が集まって、1日作業をしたのに、思ったよりは範囲が狭かったと思いました。もっと広範囲で作業が進むと思っていたので、それほど大変なのだと感じました。においも、時間がたっていたということもあり、それほど気になりませんでした。▼貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。那須野晶子

こういう機会を得て、参加させて戴いた事を感謝します。▼あまり成果は上がらなかった(私の仕事)と思いますが、なんとか少しでもお手伝いできて嬉しいです。ありがとうございました。▼参加された皆様、気持のやさしい方ばかりで私も元気をいただきました。小国志保子

今回、ボラに行く機会を与えてもらえた良かったと思っています。▼被災地域のことを気にはなっていますが、個人で計画し、動くとなれば、なかなか実行までこぎつけるのは大変なことですし、実際、この企画には、地区長さんとの事前のやりとり、etc. があったからこそ、現地の方々のニーズに合った活動ができたのではないかと感じています。▼外部から現地に向かうボラの強みは、短時間の活動ゆえのパワー、大人数ゆえの人海戦術にもあるのかも知れません。▼また自分にできる範囲で、自分だからできるようなお手伝いがあれば、していけたらと思いました。P.S.雑な文章でごめんなさい。難波美枝

ふだん経験することができない貴重な体験ができ非常に感謝しています。▼被災した地域を復旧するには多大な労力があることを、身を持ってわかることができました。また、実際に現場を見ることで自然の猛威を実感することができました。▼困っている人のために、機会があればまたボランティアに参加したいと思います。廣瀬伸作

# 第2弾 日帰りボランティア in 出石町日野辺

## 11月12日(金) 参加者37名



手際よくみな協力して気持ちよくできました。若い人達が多くとてもうれしく思いました。人数も36人と1週間の呼びかけでこれだけ集まり良かったです。山田多美子

初めてのボランティア体験だったので何ができるのか、被災された方々の様子は、と不安もありましたが、参加できて良かったです。つい指示待ち状態で回りの方々が自分で積極的にやることを見つけてきびきび働いているのを拝見し感心いたしました。思いがけず気持ちよい天候に恵まれ、観光スポットにまで案内していただいていたのでうれしやら申し訳ないやら。でも留守番を引き受けてくれた家族にはよいおみやげができて感謝です。▼一緒にできたボランティアの方々老若男女とりまぜての参加で皆さんとても気持ち良い方々ばかり、視野を広げさせていただきました。▼ボランティアという雑多な人間集団をまとめて戦力にしたて上げて下さったスタッフの皆様心より感謝いたします。また何か機会があれば参加したいと思えます。永山操



私の身長くらいまで水がきていたのだと知り驚きました。一階に住めないのはとても大変だと思います。少しでもキレイにと思い、する作業にやりがいを感じることができました。私にボランティアが出来るかと思いましたが、やってみて良い経験になりました。次回も是非参加したいと思えます。佐藤祥恵

テレビで各地の災害のニュースを見ていて、一度はと思いつつ、なかなか機会がなくて今回が初めての参加となりました。テレビでは、映像で見ていたけど実際の場所の傷の痕が時間がたった今もなお、続いていて、災害に対する普段の考えやボランティア活動に対する思いも考える機会となりました。▼現在私は、老人保健施設で働いていますが、災害地の入所されている方々はどの様に過ごされているのでしょうか。地域で生活されている方は、テレビ情報で耳にするのですが……。▼次回、災害がなければいいのですが。今年の災害でまだ傷が残っている地域の助けに少しでもなれる様に参加したいと思えます。貴重な経験をありがとうございました。抽冬幸典

私はホームページを見てこの企画を知りました。今日初めて参加させてもらったので、都市生活コミュニティセンターの活動についてはほとんど知りません。▼今日の活動内容はみぞの泥出し、おばあちゃん家の床下の泥出しでした。汚くなったけど楽しかったです。テレビや新聞で見た現場の様子と実際目にした様子は少し違いました。きっと今まで地域の人やボランティアの人が活動し、だいぶ普及しているのでしょうね。町長さんががっかりした表情だったので、気の毒でした。そして農家のおばあちゃんは元気でたくましく感心しました。▼わたしは普段会社員として働いていますが、休日は労働力を持て余しているのです、できることがあれば、何でもしますので今後も一般から公募をしていただきたいです。お疲れさまでした。三村彩

お風呂、洗濯、食器洗いなど、いつも水はキレイに洗い流してくれるのに、泥と絡むとシツコくこびりついていました。正直、こんなに落ちないものとは思いませんでした。石けんをこんなに役立つものと思ったのも初めてな気がします。床のない家を初めて見ました。今日は台風がきてだいぶ日も経っていたのに。台風は1日で去っても、修復は簡単でない、時間がホントにかかることに何だか切なかったです。小松絵梨花

今日はたいへん楽しい充実した1日でした。▼バスが満員でなかったことが、残念でした。知っていればもっと声かけできたのと思いました。思ったより若い方が多く、頼もしいかぎりでした。公民館のお掃除に、石けんやブラシを用意していけばスムーズにいったかと思えます。次回もあれば参加したいと思えます。西田佳代

お疲れさまでした。初めて参加させて頂いたのですが、朝早いのはつらかったけど、ボランティア活動は楽しかったです。少しでも役に立てたみたいで嬉しいです。出石の方達、おばあちゃんがこれからも元気でやってくれるのが何よりも大切なことだと思うので、また機会があれば参加したいと思えます。ありがとうございました。小平美菜

出石の少し手前「養父」に生家があります。両親亡き後仕事で帰る以外は閉めたままにしています。今回の23号台風は「養父」も被害が出ましたが、勿論豊岡、出石と言ったメディアに登場するところからみれば軽いものです。▼土・日、土・日帰って屋根の修理をお願いしたり、床下浸水の知人を見舞ったりが、せいぜいでした。今回ボランティアバスが出るとのメール便をみて、すぐに申し込みました。郷土愛なのでしょう。但馬をふるさととする者の。▼お若い方とご一緒出来、頼もしい若者の姿を嬉しく拝見。区長さんのなまりなつかし但馬弁もほっこりしました。花木須万

11月12日、私は出石町へ行き、復興のお手伝いをさせていただきました。このようなボランティアを経験するのは初めてだったので、この日が近づくにつれて「自分のこともきちんとできない私が、ひとのために何かすることができるのかな。」という不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、当日は「きっと私にも何か出来ることがあるはずだ！参加する限りは、出来ることを精一杯しよう！」という思いをもって現地へ向かいました。▼現地では、だいぶ復興がすすんでいたのですが、それでもまだ家屋や道路、田畑の農作物等、広範囲に及ぶ浸水の被害を感じさせる状態が残っていました。区長さんをはじめ、この地区の人の表情にはどこか不安そうな、決して明るさの感じられないものが見られました。▼私は、このボランティアを通して、「人のために何かをする喜び」を覚えました。そして、自分自身の成長につながる時を過ごせたと思えます。この日の私の働きが、少しでも現地の人達にとって、以前の表情を取り戻す助けになれば、と願っています。屋瀬多永子



今回初めてボランティアに参加させていただきました。被災後3週間が過ぎていたので、あとどれ程の片づけが残っているのだろうと考えていたのですが、まだまだ泥も残っていて、泥かき出し作業は久しぶりの力仕事で、まだ体が痛いぐらいです。家の中も、ふいてもふいても泥が出るということで、復旧の大変さを痛感しました。▼今回は、直接住民の方のお手伝いをするにはあまりありませんでしたが、少しでも町の方々の力になればうれしく思えます。油野麻由美

雨も上がり、寒くもなく、とてもいい気候でよかったです。若い方もたくさんいらっしゃってびっくりしました。やはり災害のあとは人手だなと思えました。▼しかし、片道3時間かけて行く割りには作業時間があまりなく、せつかく若い人も多かったから、もう少し作業してもよかったかなと思えます。でもたしかに観光でお金を使うのも大切なことですね。でも、作業だけのつもりだったので、小銭しかもってきてなく、あまりおみやげも買えず残念でした。作業は2~3日前にでも内容がわかっていたら、それに合わせて道具を準備できたのに、ちょっと残念でした。区長さんがわざわざ新品の歯ブラシを調達されていました。▼出石がこんなに観光地だとは知りませんでした。帰りのバスは寝て帰ります。お疲れさまでした。おやすみなさい。堀端直美

今日初めて会った人ばかりでしたが、側溝の土砂掃除という共同作業を通して、何も言わないでも、徐々に団結していったことはとても素晴らしいことだと思った。それは、各々がボランティアに参加することで、他者を受け入れよう、他者と助け合おうという姿勢を持つて集まったことがよかったのではないかなと思う。スポーツや会社も同じで、いいチームというのは確かに体制も重要だが、結局は個人の意識の持ちように依っているのではないかなと思う。▼しかし一方で、私はゼミの仲間と共にこの活動に参加した為、どうしてもその仲間が集まってしまったことは後悔している。もっと他の参加者と話をし取り組めば、人助けの達成感の他にも、他人と分り合えた時の満足感が得られたのではないかなと思った。一日という短い時間ではあったが、それができる環境にあったと思う。▼もう一つ残念なのは、地元の方の顔があまり見られなかったことである。地元の方との交流も、先に述べたボランティア同士の交流と同じぐらいいい経験になるように思う。▼勝手な意見を述べさせて頂きましたが、今回の活動は私にとって、とてもいい経験になりました。とても素晴らしい活動だったと思えます。これからもがんばってください。水上点晴

当日は暑くもなく寒くもなく時折爽やかな風も吹いていた御蔭で、それほど汗もかかずに済んで、私事ながらボランティア入門編として最適な一日でありました。終了後すぐは、ボランティアは初めてという意気込みだったせいか不謹慎で失礼ですが正直申しまして、ものすごく物足りない気分……でした。でも最後におばあちゃんに喜んでいただけたこと、帰りの車中で池田さんが「公民館が綺麗になって、今日は満足した」と言われてるのを聞いて、いいことをしたんだと教えていただきました。などとエラそうなことを考えてても、やっぱり帰宅後しばらくして風呂に入らないかんという時分になると、ほらほら来た～とばかりに全身のあちこちがガタガタになっていることに気がつきました。あの程度でこのぎまでは勿論イタダケません。できるだけ鍛えておきます。▼豊岡、出石町方面などへの用事は、もう完全に終了したのでしょうか？ 予定が発生したり、欠員が生じたりしましたら、御連絡くださいませ。▼新潟の方は泊りがけになるのでしょうか？ できるだけ参加させていただきたいと存じます。宿泊のことが気になります。▼実は私には、隣の大阪に住んでいながら阪神大震災のボランティアに駆けつけなかった後ろめたさがずっとありました。申し訳ありません。今回は往復のバスを用意してくださった御蔭さまで初心の私めでも参加させていただくことができました。本当に助かりました。▼これからは機会が合えばお手伝いさせていただきたいと存じます。良い経験をさせていただき、ありがとうございました。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。大塚秀



前の晩から心配されていた雨も出石町に着く頃には陽もさす位のボランティア日和となりました。午前は公民館の掃除、午後は8?才で一人暮らしのおばあちゃん宅の床下の石ころなどを出す作業を行いました。▼公民館の方は区長さんより、“台所の食器棚を元の位置に戻してほしい”との要望があったので、人の背丈まで浸かった泥水の跡形を、タワシに固形石けんをつけて擦った後ふき取り、棚についていた泥も綺麗にした後、やっとの思いで元の定位置に戻し完了させることができました。またおばあちゃん宅の方はどういう訳か床下にあった大小様々な石ころや稲わら・もみ殻など、バケツリレー巡回戦術で庭や畑に山のように出し、何とか綺麗にする事ができました。▼どちらも目に見えて成果が見られたので、関わったみんなで達成感を味わい、また区長さん・おばあちゃんにはとても感謝をして頂き心地よい疲れを感じて帰路に着きました。でも私たちの出来たことはほんの少しだけで、これからもまだまだボランティアの手はいる！思いました。今回嬉しかったのは、このおばあちゃんの可愛くて（失礼かな？）とても素敵な笑顔に出会えて、私たちが元気を頂きました。今もその笑顔が忘れられません。

#### 岡部真紀子

朝は出石の畑の側溝にたまったドロドロの土をスコップで土手に上げる作業をしました。▼面白い程スコップがスッと入るのですが、コップ一杯は重たくてなかなか上がらない、少しずつ上げました。昼からは八十九才の可愛いおばあちゃんがいらっしゃる家の床下に流れ込んだ土砂を取り除く作業、大きな石、中くらいの石、土にまじったもみ殻を取り除く作業バケツリレー等、大勢の力できれいになりました。▼帰る途中で出石そばを食べました。ことのほか美味しかったです。▼お土産屋さんでこの辺はどうもなかったと聞き、良かったですね、と云いますと同じ町内で明暗と分かれた事に素直に喜べないと…。わかるような気がします。村上広子

### ～インフォメーション～

#### ●震災10年の集い

2005年1月17日(月) 17:00～19:00 西宮市勤労会館4階 会費1000円  
(午前5時46分から行われる神戸市長田区の御蔵地区の追悼行事にNPO法人都市生活コミュニティセンターのメンバーは参列します。皆さんもぜひご参加下さい。)

#### ●震災10年メモリアルころあつたかコンサート ～新垣 勉を迎えて～

2005年2月3日(木) 開場17:00～ 開演18:00～ 神戸文化ホール中ホール  
問い合わせ: 生協都市生活 078-904-3260 チケット/当日4000円 前売3000円 学割2000円  
主催 震災10年メモリアル・ころあつたかコンサート実行委員会

